



ふるかわ内科 クリニック通信

2010年
夏号
第5号



院長より

当院では患者さんが希望された場合、ジェネリック医薬品を使用できるようにしています。

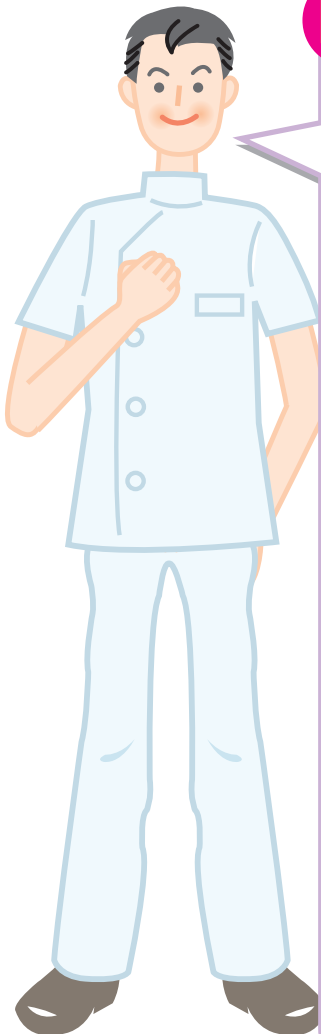
●ジェネリックとは

新薬として最初に発売された薬は特許に守られ、開発したメーカーが独占的にその薬を製造販売することができます。これが「先発医薬品」です。特許期間が切れると、他のメーカーも同じ成分、同じ効果の薬を製造できるようになります。これが「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」で、その価格は先発医薬品よりも安く設定されています。

●安いのはいいけどきちんと効くの？

有効成分は先発品と同じですので同様の有効性と安全性が確保されていると考えられます。また、ジェネリック医薬品は、どれだけの速さで、どれくらいの量の薬の成分が血液中に入っていくかを調べる試験（生物学的同等性試験）を行って、同等であることが確認されてから発売されています。ただし、有効成分以外の添加物が異なる場合がありますので薬の大きさやにおい、味が変わることがあります。

慢性疾患の治療は長期間になるため医療費の問題はとても大切なことであると考えています。このため検査の内容や頻度を適切にしたり、ご希望される方にはジェネリックを使っていただけるようにしています。ジェネリックに変更されても基本的には問題ない方がほとんどです。ただし、中には何らかの異変を感じてそれがジェネリックに変更したためかもしれないとおっしゃる方がいるのも事実です。それが本当に薬の変更が原因であるのかを確かめるのは困難ですが、そのような場合は元の薬に戻しています。患者さんが安心して、また納得して服用していただけるよう心がけています。当院で発行している処方箋は基本的にはジェネリックへの変更が可能ですので、ご希望の場合は薬局でその旨をお伝えください。ただし、何らかの事情があって変更不可能としている場合もあります。何らかの事情とは例えば種々の薬剤にアレルギーがあるような場合や、患者さんが薬の変更に関し強く不安を感じる傾向がある場合などです。



新人スタッフ紹介

5月より受付に新しいスタッフが加わりました！



安井 裕子

患者様に気持ちよく診察を受けていただけるよう心がけてがんばります。



池山 千秋

まだまだ不慣れな点もありますが、笑顔で患者様と接して、気持ちよくお帰りいただけるようがんばります。

内科、糖尿病・消化器内科

ふるかわ内科クリニック

糖尿病学会専門医・指導医 消化器病学会専門医 総合内科専門医

大阪府八尾市跡部北の町3-1-26 久宝寺クリニックビル1F

☎072-943-3307 FAX072-943-3308

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9時～午後12時30分	○	○	△	○	○	○
午後4時～午後7時	○	○	△	○	○	△

休診：水曜日・日曜日・祝日・土曜日午後
経鼻内視鏡あります

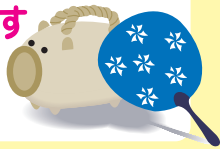
ホームページ [ふるかわ内科クリニック](#) 検索

連絡事項

8月の休診のお知らせ

8/9～8/14です

(夏季休暇のため)



八尾市在住の方は
大腸がん検診受診できます。

(便に血液が混じっているかを調べる検査です)

費用：600円

70歳以上：無料



糖尿病コラム

糖尿病の診断基準が新しくなりました。

2010年7月1日より糖尿病の診断基準が改定されました。診断基準の改訂の要点を簡単にまとめると、「HbA1cがより積極的に糖尿病の診断に取り入れられた。」「血糖とHbA1cを同日に測定するのが望ましいことが明記された。」というところです。

糖尿病の診断は「慢性的に高血糖である」ということを明らかにする必要があるため、正式な診断基準には細かな診断手順が記されています。ここでは一般の方々にはわかりやすくするため、思い切って短くポイントだけを書くならば

「空腹時血糖126mg/dl以上または随時血糖（食後血糖）200mg/dl以上でHbA1c6.1%以上ならば糖尿病」

ということです。

HbA1cは過去1、2ヵ月の平均血糖値を反映する指標で糖尿病のコントロールの目安として広く用いられており、特定検診でも測定項目に入っています。当院でも院内で測定できるようにしており、受診当日に結果を聞いていただける体制となっております。

